



請 願 書

(請願名)

大学入学共通テストの円滑な実施を求める意見書提出方請願

紹介議員

米沢市議会議員

堤 郁雄



〃

中村 圭介

〃

佐藤 弘司

〃

木村 芳浩

〃

〃

〃

〃

請願者住所 米沢市花沢町2780-24

氏 名 (団体の場合は団体名及び代表者名)

大学入試を考える親の会 代表

高木 真也



電 話 090 (5830) 3347

平成 2 年 2 月 17 日

米沢市議会議長 様

(請願の要旨又は理由)

大学入学共通テストの円滑な実施を求める意見書提出方請願

これからの時代は、グローバル化やAI等の技術革新に伴い、予見困難な時代になりつつある。今までの、正しい知識を覚えれば解答できるという「知識偏重主義」の教育から、知識の量だけではなく、覚えた知識を活用、応用し自ら問題を発見し、答えや新たな価値を生み出し、創造していく力を養う教育に変えていこうと考えるのは当然である。

文部科学省が、令和3年度大学入学選抜より、現行の「大学入試センター試験」を「大学入学共通テスト」(以下「共通テスト」という。)に変更し、英語、国語、数学等について試験方式を変更することとした。

しかし、英語の民間試験導入については、地域格差や経済格差があるとの理由で、公正・公平性が十分に確保されていないとして延期され、今後1年を目途に検討し、結論を出すこととしている。

また、国語と数学で記述式の問題が出題されることとしていたが、採点基準の確保に問題があることや、受験生の自己採点が困難であること等のため延期された。

特に民間企業に委託しようとしていた採点作業は、大学生等のアルバイトに任せることになるため、採点の質と公平性が担保されないのではないか、ということや、過去に記述式問題の採点誤りが数多く発生したことから、マークシート方式の試験になった経緯もある。英語の民間試験も、その目的や難易度が異なるため採点の基準等もバラバラで、文部科学省もそれらへの対応が十分できていないという現状がある。

よって政府は、「共通テスト」が受験生の人生を左右する重要な試験であることを念頭に置き、受験生が不安に陥ることなく、試験に臨むことができるように、以下の事項につき、所要の措置を早急に講ずることを強く要望する。

- 1 教育や学校関係者等様々な団体や受験生本人等から十分に意見を聴取し、あらゆる視点で「共通テスト」の実施のあり方について検討すること。
- 2 試験制度変更に関する詳細な情報提供を、迅速に行うこと。
- 3 学習指導要領との関連に十分配慮すること。
- 4 英語の民間試験導入については、受験生が不公平感を抱かないように慎重に検討すること。

以上、国及び関係機関に意見書を提出していただきますよう、お願い申し上げます。